

第1回名古屋大学日本語教育研究集会

日時 2003年8月1日(金)

場所 国際言語文化研究科棟2階 LL22 番教室(控え室: LL24 番教室)

プログラム

受付開始: 9:30~

- 講演: 10:00~10:30 小林ミナ(北海道大学留学生センター)
「日本人評価」研究の成果は教育現場に還元可能か?
- 研究発表: 10:30~11:00 山本裕子(名古屋女子大学・非常勤講師)
補助動詞の相互承接について
- 11:00~11:30 鈴木智美(東京外国語大学留学生日本語教育センター)
「~だの~だの」の意味
- 11:30~12:00 浅井美恵子(名大日言文院生)
日本語の論説文における文構造について - 日本語母語
大学院生、大学生、日本語学習者の副詞節の比較から -
(以上司会 名嶋義直)

(昼休み)

- 13:00~13:30 八木真生(名大日言文院生)
「そりゃ」の意味機能
- 「それは当然~だ」という意味を持つ場合 -
- 13:30~14:00 名嶋義直(東北大学大学教育研究センター)
ノダカラに関する語用論的考察
- 14:00~14:30 宋 正植(名大日言文院生)
比較語彙研究について
「意味分野別構造分析法」による「天声人語」の語彙分析を通して
- 14:30~15:00 許 夏玲(東京学芸大学留学生センター)
話し言葉における「といえは」「といたら」の意味機能の変化
(以上司会 鈴木智美)

(休憩)

- 15:30~16:00 寺島啓子(名大日言文院生)
日本語コロケーション辞典編纂へ向けて
- 16:00~16:30 林 佩芬(名大国際言語文化研究科研究生)
「に」と共起する数量詞表現について
- 16:30~17:00 杉村 泰(名古屋大学大学院国際言語文化研究科)
「彼女が待ってる新宿() 恋する切符5,100円」
- 格助詞「に」と「へ」のイメージ -
- 17:00~17:30 萩原由貴子(名大日言文院生)
話し言葉における無助詞 - 形式的側面を中心として -
(以上司会 許夏玲)

懇親会 18:00~20:00(社会人:3000円、院生:2000円)

[会場] レストラン花の木(名古屋大学東山キャンパス内農学部横)